

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：硬筆書写検定	岩下	■ 1 年 前期	
到達目標	1、文字の基本から学び読みやすい文章の書き方を学ぶ	2 単位 32 時数	
	2、履歴書の書き方 3、書写検定合格のポイント	実務経験 文科省書写検定審査委員	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	読みやすい文字を書くコツ① 筆順	文字を書くための基本 姿勢・持ち方・自分の名前の確認	
2	読みやすい文字を書くコツ② 筆順	自分の名前（配字配列） 感じのバランスの取り方を学ぶ①	
3	読みやすい文字を書くコツ③ 筆順	感じのバランスの取り方を学ぶ②	
4	読みやすい文字を書くコツ④ 部首	片仮名の字源と特徴 片仮名のバランスの取り方を学ぶ	
5	読みやすい文字を書くコツ⑤ 部首	片仮名の字源と特徴 片仮名のバランスの取り方を学ぶ	
6	読みやすい文字を書くコツ⑥ 常用漢字	縦書きの書式とバランス 活字から書き文字へ書き取り	
7	読みやすい文字を書くコツ⑦ 常用漢字	横書きの書式とバランス 活字から書き文字へ書き取り	
8	読みやすい文字を書くコツ⑧ 常用漢字	文字のバランスの取り方（まとめ） 縦書き・横書き（小テスト）	
9	読みやすい文字を書くコツ⑨	履歴書の書き方（下書き） 名前・漢字の書き取り練習	
10	読みやすい文字を書くコツ⑩	履歴書の書き方 履歴書を書くための書式とバランス	
11	読みやすい文字を書くコツ⑪	履歴書の書き方 添削を参考にまとめ	
12	書写検定合格のポイント①	横書き 第1・4問 ～早書き・楷書～	
13	書写検定合格のポイント②	横書き 第1・4問 ～早書き・楷書～	
14	書写検定合格のポイント③	はがきの表書き 第5問 ～はがきの書式を学ぶ～	
15	書写検定合格のポイント④	はがきの表書き 第5問 ～はがきの書式を学ぶ～	
16	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：硬筆書写検定		岩下	■ 1年 後期	
到達目標	1、書写検定合格のポイント 2、合格できる技能を身につける 3、筆ペンで実用書を学ぶ			2単位 32時数
				実務経験 文科省書写検定審査委員
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	書写検定合格のポイント	書写理論		
	①横書きの書式と特徴	部首		
2	・早書き4分(第1問)			
	・横書き(第4問) 漢字・平片仮名・数字・アルファベット	筆順		
3	②縦書きの書式と特徴			
	・楷書と行書の特徴	筆順		
4	・マス(第2問)			
	・縦書き(第3問)	草書のよみ		
5	③掲示文を書く			
	・B4サイズに油性マジックで書く	常用漢字		
6	・レイアウトとバランス(第6問)			
		常用漢字		
7	④はがきの表書き(復習)			
	・書式と文字のバランス(第5問)	まとめ①		
8	⑤復習(第1問～第6問)			
	・理論 過去問	まとめ②		
9	書写検定過去問題			
	・模擬①	評価1		
10	書写検定過去問題			
	・模擬②	評価2		
11	書写検定過去問題			
	・模擬③	評価3		
12	履歴書(復習)			
	書写検定の説明、その他	評価4		
13	筆ペンで実用書を学ぶ			
	・慶弔の表書き～慶事の書き方と由来	検定の確認		
14	筆ペンで実用書を学ぶ			
	・慶弔の表書き～弔事の表書きと由来			
15	筆ペンで実用書を学ぶ			
	・慶弔の表書き～慶事・弔事の表書き 小テスト・まとめ	評価5		
16	テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：サービス接客		堂上	■ 1年 前期	
到達目標	1、サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、応対の技術、振る舞いなどを学ぶ		2単位 32時数	
	2、おもてなしの心とかたちを習得する		実務経験	
	3、サービス接客検定3級合格		放送局勤務歴有・コンサル業務	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	クール開始授業説明、到達点について		
2	敬語①	現状の敬語力		
3	敬語②	小テスト/尊敬、丁寧		
4	敬語③	小テスト/謙譲語		
5	敬語④	小テスト/よく間違える敬語の使い方		
6	検定対策	模擬テスト		
7	検定対策	模擬テスト		
8	中間テスト	筆記テスト		
9	復習授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について		
10	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接客2級対策		
11	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接客2級対策		
12	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接客2級対策		
13	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接客2級対策		
14	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接客2級対策		
15	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接客2級対策		
16	最終テスト	筆記テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：サービス接遇		堂上	■ 1年 後期	
到達目標	1、サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、応対の技術、振る舞いなどを学ぶ		2単位 32時数	
	2、おもてなしの心とかたちを習得する		実務経験	
	3、サービス接遇検定3級合格		放送局勤務歴有・コンサル業務	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	クール開始授業説明、到達点について		
2	前期振り返り	理解できていないところの把握と克服		
3	敬語	過去問		
4	アナウンス文	場面に応じた文章作成・問題集		
5	掲示文	場面に応じた文章作成・問題集		
6	販売文	場面に応じた文章作成・問題集		
7	検定対策	模擬テスト		
8	中間テスト	筆記テスト・実技テスト		
9	導入授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について		
10	電話対応	電話の受け方・名前伺い		
11	電話対応	聞き取り		
12	電話対応	伝言の受け方とメモ		
13	電話対応	会話のバトンタッチ		
14	電話対応	クレーム		
15	電話対応	ケーススタディ		
16	最終テスト	筆記テスト・実技テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：Word演習		小磯	■ 1 年 前期	
到達目標	1、Wordの基本操作 2、ビジネス文書の作成習得 3、Word文書処理技能認定試験3級の取得		2単位 32時数 実務経験 情報システム企業勤務歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	授業内容説明、Word-基本操作		Word2019基本編	
2	文書編集 ビジネス文書の基本的な編集作業		Word2019基本編	
3	印刷設定・文書編集問題 ヘッダーフッター・印刷設定・文書編集を行い機能を習得する	ビジネス文書編集問題	Word2019基本編	
4	文書作成 ビジネス文書作成のためのテクニック		Word2019基本編	
5	文書作成問題 文書編集・文書作成をまとめた書類を作成する	ビジネス文書作成問題	Word2019基本編	
6	表を使った文書作成 表が入ったビジネス文書を作成し、表の使い方を習得する		Word2019基本編	
7	表を使った文書作成問題 表作成をメインに表の使い方を学ぶための問題を行っていく	表を使用したビジネス文書表作成問題	Word2019基本編	
8	図形や画像を使った文書の作成 ポスターやチラシなど、ビジネス文書以外の書類の作成	図形作成問題	Word2019基本編	
9	総合学習問題 Word2019基本編第2部問題演習編	Wordの2019基本編テキストの総合問題	Word2019基本編	
10	Word3級問題集 問題集の模擬問題1の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題1	Word文書処理技能認定試験3級問題集	
11	Word3級問題集 問題集の模擬問題2の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題2	Word文書処理技能認定試験3級問題集	
12	Word3級問題集 問題集の模擬問題3の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題3	Word文書処理技能認定試験3級問題集	
13	Word3級問題集 問題集の模擬問題4の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題4	Word文書処理技能認定試験3級問題集	
14	Word3級問題集 問題集の模擬問題5の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題5	Word文書処理技能認定試験3級問題集	
15	Word3級問題集 問題集の模擬問題6の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題6	Word文書処理技能認定試験3級問題集	
16	最終テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：Excel演習		小磯	■ 1年 後期	
到達目標	1、EXCELの基本操作			2単位 32時数 実務経験 情報システム企業勤務歴有
	2、EXCEL表・グラフ作成			
	3、基本的な関数の使い方を身につける			
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	Excel入力方法・四則演算			Excel2019基本編
	全角半角での入力方法・四則演算・絶対参照			
2	Excel-表の編集			Excel2019基本編
	罫線・列・行幅・表を完成			
3	Excel-表の印刷と問題		表作成問題	Excel2019基本編
	ヘッダ・フッタの作成・印刷範囲の設定			
4	Excel-グラフ作成・図形描画			Excel2019基本編
	表を元に棒グラフ・円グラフの作成			
5	Excel-グラフ作成・図形描画問題		表作成グラフ作成問題	Excel2019基本編
	表作成・印刷設定・グラフ作成問題			
6	Excel-ブック管理・ウィンドウ操作・データベース機能			Excel2019基本編
	ワークシートの操作・ウィンドウ枠の固定・並べ替え・抽出			
7	Excel-関数			Excel2019基本編
	SUM/AVERAGE/MAX/MIN/COUNT/ROUND/IF/DATEDIF関数			
8	Excel-関数問題		関数問題	Excel2019基本編
	各関数を使用した表作成問題			
9	Excel-総合学習問題		Excel2019基本編の総合問題	Excel2019基本編
	Excel2019基本編の表・グラフ・関数を使用した総合問題			
10	Excel-総合問題1 (表・関数)		四則演算・SUM/AVERAGE関数を使用した表作成問題	
11	Excel-総合問題2 (表・グラフ・関数)		グラフを含めた表作成問題	
12	Excel-総合問題3 (表・関数)		ROUND関数を含めた表作成問題	
13	Excel-総合問題4 (表・関数)		日付関数を含めた表作成問題	
14	Excel-総合問題5 (表・関数)		IF関数を含めた表作成問題	
15	Excel-総合問題5 (表・関数)		OR,ANDを含めた複雑なIF関数を含めた表作成問題	
16	最終テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：パーソナルカラー		姫野	■ 1年 前期	
到達目標	1、基本的な色彩理論を習得し、パーソナルカラーコンサルテーションの基礎を学ぶ		2単位 32時数	
	2、自分自身のシーズンカラーと個性を知ること、より自己表現を豊かにできるようにする		実務経験	
	3、JCMASパーソナルコンサルタント3級合格を目指す		結婚式場・百貨店等の色彩指導	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	色の重要性 パーソナルカラーコンサルテーションとは	パーソナルカラーコンサルテーションの説明 クラスメイトのカラーイメージ		
2	パーソナルカラーコンサルテーションと人間、 環境とのかかわり 色彩の基本	パーソナリティテスト・サブジェクトカラーテスト 光と目の関係・トーン図作成		
3	色の歴史とシーズンカラーアナリシス 色彩の基本	パーソナルカラーコンサルテーションの成り立ち トーンリングカラーテスト 色の対比		
4	シーズンの色分析を必要とする理由 絶対シーズンの肌と身体の配色	シーズンカラーアナリシスの基本の分類、 肌の要素 肌のアンダーベースカラー		
5	色理論と4シーズンのカラーブーク	色の三属性、色の調和、色の特性		
6	色理論と4シーズンのカラーブーク 総復習	4シーズンのブークカラーの特質		
7	復習テスト カラードレイピング	ドレイピングを始める注意点 着眼点 実習-カラードレイピング		
8	カラードレイピング	実習-カラードレイピング 4シーズンのファッションカラーズ		
9	カラードレイピング	実習-カラードレイピング 4シーズンのファッションカラーズ		
10	絶対シーズンの特質	シーズンの名付け方		
11	絶対シーズンの特質	自分の個性のシーズンを確認する		
12	ブレンドシーズン 主観色	4絶対シーズンと16ソフトシーズン 主観色の使い方		
13	身体の調和色 肌のアンダーベースカラーの確認	ボディカラーチェック ファンデーションスタンプの塗り方と見方		
14	前期総復習	テキスト第1章～第10章までの 総復習		
15	前期テスト	テキスト第1章～第10章までの テスト		
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：パーソナルカラー		姫野	■ 1年 後期	
到達目標	1、色彩理論の基本を理解する		2単位 32時数	
	2、4シーズンカラーと個性を理解し、自分のシーズンカラー・個性を把握する		実務経験	
	3、JCMASパーソナルカラーコンサルタント3級合格		結婚式場・百貨店等の色彩指導	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	シーズンを生かす	4シーズンのファッションカラージュ		
2	シーズンを生かす	4シーズンのファッションカラージュ		
3	カラー診断実習	4シーズンのボードの仕分け		
4	カラー診断実習	4シーズンのボードの当て方		
5	カラー診断実習テスト	4シーズンのボードの並べ方、当て方テスト		
6	復習テスト	テキスト第1章～第12章までの復習		
7	体型(色とデザイン)	体型を色でカモフラージュする方法		
8	シーズンのメイクアップ ヘアカラーとスタイリング	4シーズンのメイクアップ 着色		
9	男性 カラーアナリストのシーズン	「自己分析とパーソナルアイデンティティについて」のレポート説明		
10	販売 インテリア	4シーズンのインテリア 着色		
11	子供たち カラーファン	「自己分析とパーソナルアイデンティティについて」のレポート説明		
12	パーソナルカラーコンサルタント3級 試験対策	前期総復習(テキスト第1章～第10章)		
13	パーソナルカラーコンサルタント3級 試験対策	後期総復習(テキスト第11章～第23章)		
14	後期テスト			
15	パーソナルカラーコンサルタント3級試験			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科
教科名：企業研修Ⅰ		藤武	■1年 後期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		4単位 64時数
			実務経験 エスデ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：企業研修Ⅱ		藤武	■1年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			4単位 64時数
				実務経験 エスデ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：エステ概論・衛生管理		西村	1年 前期	
到達目標			2単位 32時数	
			実務経験 エステサロン経営	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	エステティックの概念			
2	内面美容としてのエステティック			
3	エステティックの本質と領域			
4	ソワソワエステティック			
5	スキントッチの重要性と五感美容			
6	美と健康			
7	ウェルネス			
8	日本のエステティックの歴史と資格			
9	市場と現況			
10	世界のエステティックの歴史 各国の教育と資格			
11	エステティシャンとしての心構えと資質 ホスピタリティーマインド			
12	エステティシャンとしての心構え サロンが求める人材			
13	まとめ			
14	試験対策			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：皮膚と化粧品		藤武	1年 前期	
到達目標	1、皮膚の構造と働き、仕組みを理解 2、自分の肌の状態を知り、正しいスキンケアができるようになる			2単位 32時数
				実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	皮膚の役割と構造		皮膚の4つの役割と構造	
2	皮膚の役割と構造		自分の肌質を知る スキンケアの基本	
3	皮膚の役割と働き		表皮の構造	
4	皮膚の役割と働き		表皮の構造	
5	皮膚の役割と働き		表皮の付属器官	
6	表皮ケア		表皮の保湿と角質層と毛穴ケア	
7	皮膚の構造と働き		真皮・皮下組織	
8	中間試験		復習と解説	
9	美容上大切な皮膚の働きと役割		角質層バリア・皮脂膜	
10	美容上大切な皮膚の働きと役割		表皮ターンオーバー	
11	美容上大切な皮膚の働きと役割		毛細血管・繊維芽細胞	
12	基本肌		4肌分類・特徴	
13	肌別		肌のタイプとスキンケアの理解を深める	
14	肌別		肌のタイプとスキンケアの理解を深める	
15	試験		筆記試験	
16	解答・解説		復習と解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：化粧品検定		藤武	1年 後期	
到達目標	1、肌トラブルの状態、要因、ケアのポイントを理解しアドバイスができるようになる			2単位 32時数
	2、美容の成分と肌にあった化粧品選び			実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	美肌ケアの基本			
2	肌タイプとスキンケア	肌のタイプ理解を深める		
3	肌タイプとスキンケア	肌のタイプ理解を深める		
4	様々な肌状態	敏感肌の状態、進行過程、ケアのポイント		
5	様々な肌状態	ニキビのメカニズム		
6	様々な肌状態	ニキビの種類による状態、進行過程、ケアのポイント		
7	ニキビに効果的な成分とケアの方法	化粧品の選び方と使い方		
8	様々な肌状態	シミのメカニズム		
9	様々な肌状態	シミの発生状態、進行過程、ケアのポイント		
10	シミに効果的な成分とケアの方法	化粧品の選び方と使い方 日焼け止め		
11	様々な肌状態	肌荒れ。敏感のメカニズム		
12	様々な肌状態	乾燥、肌荒れ進行過程、ケアのポイント		
13	シミに効果的な成分とケアの方法	化粧品の選び方と使い方 保湿の種類とポイント		
14	肌と環境変化	美しさを損ねる要因		
15	試験	筆記試験		
16	解答・解説	復習と解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：美容基礎		西村	1年 前期	
到達目標	化粧品を扱う上で必要な法律や剤型、原料の特徴や機能、効果を理解し適切な選択及びアドバイスができるようになる			2単位 32時数
				実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	化粧品概論			
2	化粧品の分類と取り扱いの留意点 薬機法			
3	使用目的ごとのフェイシャル化粧品の目的と働き①			
4	使用目的ごとのフェイシャル化粧品の目的と働き②			
5	実習で使用する化粧品の特徴と作用			
6	メイクアップ化粧品の分類と取り扱いの留意点			
7	使用目的ごとの化粧品の目的と働き①			
8	使用目的ごとの化粧品の目的と働き②			
9	ネイル化粧品			
10	ヘアケア化粧品			
11	フレグランス			
12	試験対策			
13	試験対策			
14	試験対策			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：カウンセリング		西村	1年 後期	
到達目標	化粧品を扱う上で必要な法律や剤型、原料の特徴や機能、効果を理解し適切な選択及びアドバイスができるようになる			2単位 32時数
				実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	化粧品の原料 油性原料			
2	界面活性剤の種類と特徴			
3	界面活性剤の種類と特徴			
4	化粧品配合薬剤			
5	化粧品に用いられる薬剤とその働き			
6	化粧品の成分を読み解く			
7	化粧品の成分を読み解く			
8	化粧品の成分を読み解く			
9	化粧品販売に必要なノウハウ			
10	コンサルテーション①			
11	コンサルテーション②			
12	試験対策			
13	試験対策			
14	試験対策			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：フェイシャルエステ		藤武	1 年 前期	
到達目標	1、フェイシャルエステティックの目的と効果を理解し、基本的な流れを習得する			6単位 96時数
	2、フェイシャルエステティックで使用する各機器の特長の理解と技術の取得			実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	フェイシャルエステティックの基礎理論	施術に入るための準備と片付け		
	化粧品の特徴と種類	商材を理解		
2	フェイシャルクレンジング①	クレンジングの工程		
	クレンジング～拭き取り（スポンジ）手順			
3	フェイシャルクレンジング②	クレンジングの工程		
	クレンジング～拭き取り（スポンジ+HOTタオル）手順			
4	ディープクレンジング ①	酵素・吸引		
5	ディープクレンジング ②	ブラシ洗顔		
6	ディープクレンジング ③	ピーリング		
7	ディープクレンジング ④	エレクトロクレンジング		
	電気機器学（フェイシャル機器の取り扱いと電気の作用）			
8	確認テスト	ディープクレンジングまでの一連の流れをマスター		
9	肌質の見分け方			
10	カウンセリングに基づいたフェイシャルケアの選択	コンサルテーションを学ぶ		
11	カウンセリングに基づいたフェイシャルケアの選択	コンサルテーションを学ぶ		
12	カウンセリングに基づいたフェイシャルケアの選択	コンサルテーションを学ぶ		
13	カウンセリングに基づいたフェイシャルケアの選択	コンサルテーションを学ぶ		
14	パック（肌別選択と塗布、オフの手順）			
15	フェイシャルマッサージ 通し練習			
16	確認テスト	マッサージ		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：フェイシャルエステ		藤武	1年 後期	
到達目標	1、JEEC技術力試験に合格する			6単位 96時数
	2、肌診断、コンサルテーション、基本手技のマスター			実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	フェイシャルエステティックとコンサルテーション 各種ディープクレンジングの一連の流れをマスター			
2	フェイシャルマッサージ(軽擦法)	手技の特徴と手法を学ぶ		
3	フェイシャルマッサージ(前回復習・強擦法)	手技の特徴と手法を学ぶ		
4	フェイシャルマッサージ(前回復習・揉捻法)	手技の特徴と手法を学ぶ		
5	フェイシャルマッサージ(前回復習・打法)	手技の特徴と手法を学ぶ		
6	フェイシャルマッサージ(前回復習・振動法)	手技の特徴と手法を学ぶ		
7	フェイシャルマッサージ(前回復習・圧迫法) 13点ツボ指圧	手技の特徴と手法を学ぶ ツボの位置と名称の理解		
8	フェイシャルマッサージ 通し練習			
9	フェイシャルマッサージ 通し練習			
10	フェイシャルベーシックトリートメントの流れとタイムチャレンジ	機器以外		
11	JEEC実技力試験対策			
12	JEEC実技力試験対策			
13	フェイシャル通し練習と口頭試問			
14	JEEC実技力試験対策			
15	JEEC技術力テスト			
16	振り返り			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ボディエステ		藤武	1年 前期	
到達目標	1、ボディトリートメントの基礎を学ぶ 2、認定エステティシャン資格取得に向けたボディエステティック実技取得			4単位 64時数
				実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	ボディの基礎と各名称の学ぶ			
2	前操作の目的と名称・位置			
3	前操作と手順 骨格と骨格筋			
4	ボディマッサージ（背面）	下肢後面-①		
5	ボディマッサージ（背面）	下肢後面-②		
6	ボディマッサージ（背面）	下肢後面-②		
7	ボディマッサージ（背面）	臀部		
8	ボディマッサージ（背面）	腰背部		
9	ボディマッサージ（背面）	腰背部		
10	ボディマッサージ（背面）	下肢後面～腰背部の通し練習		
11	ボディマッサージ（背面）	下肢後面～腰背部の通し練習		
12	ボディマッサージ（背面）	下肢後面～腰背部の通し練習		
13	試験	背面のマッサージ		
14	ボディマッサージ（前面）	下肢のマッサージ		
15	ボディマッサージ（前面）	下肢のマッサージ		
16	ボディマッサージ（前面）	上肢のマッサージ		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ボディエステ		藤武	1 年 後期	
到達目標	1、ボディトリートメントの基礎を学ぶ			4単位 64時数
	2、認定エステティシャン資格取得に向けたボディエステティック実技取得			実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	ボディマッサージ (前面)	上肢のマッサージ		
2	ボディマッサージ (前面) 腹部の構造理解	腹部のマッサージ		
3	ボディマッサージ (前面)	腹部のマッサージ		
4	ボディマッサージ (前面)	デコルテ、頭部		
5	ボディマッサージ通し (タイムトライアル)			
6	ボディマッサージ通し (タイムトライアル)			
7	JEEC試験対策 ボディコンサルテーションに基づいたトリートメント			
8	JEEC試験対策 ボディコンサルテーションに基づいたトリートメント			
9	JEEC試験対策 □頭試験			
10	JEEC試験対策 □頭試験			
11	模擬試験			
12	JEEC試験対策			
13	試 験 (JEEC)			
14	ボディマッサージ (応用)			
15	ボディマッサージ (応用)			
16	ボディマッサージ (応用)			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：メイク演習A		森山	1年 前期	
到達目標	1、スキンケアの手順、ベースメイクの作り方、ポイントメイクの表現などメイクアップの基本テクニックを習得する			4単位 64時数
	2、セルフメイク（就活メイク、より魅力を増すメイク、イメージメイク）を極める			実務経験 化粧品会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	セルフメイク（就活メイク）自分に似合うメイクを知る	スキンケアからポイントメイクまで セルフメイクの知識・技術を習得する		
2	セルフメイク（なりたいイメージに合わせたメイク） 自分の魅せ方を知る	スキンケアからポイントメイクまで セルフメイクの知識・技術を習得する		
3	メイクアップの必要性、メイクの役割、スタンス解説 スキンケアの手順（クレンジング～ファンデーション塗布まで）	スキンケアの役割、メイクアップの 必要性を知り、実践（相モデル）		
4	スキンケアからベースメイク (クレンジング～ファンデーション塗布まで)	手順を覚えて美しく仕上げる		
5	ファンデーションからベースメイク、リップ	ファンデーションを美しく塗布 リップのスタンダードテクニック習得		
6	ベースメイク、アイメイク	ベースメイクの完成度を上げ、 アイメイクのスタンダードテクニック習得		
7	ベースメイク、アイブロウ	ベースメイクの完成度を上げ、 アイブロウのスタンダードテクニック習得		
8	ベースメイク、チーク	チークのナチュラルな入れ方、スタン ダードメイクの完成、テクニック習得		
9	骨格に合わせたメイクアップ	スキンケアをしながら骨格を把握し メイクアップする		
10	メイクアップの応用（丸）	可愛らしく見せるメイク の作り方を習得		
11	メイクアップの応用（三角）	かっこよく見せるメイク の作り方を習得		
12	メイクアップの応用（四角）	大人っぽくエレガントに見せるメイク の作り方を習得		
13	バランスのとれたメイクアップ（丸・キュート）	丸・キュートメイクまとめ		
14	バランスのとれたメイクアップ（三角・クール）	三角・クールメイクまとめ		
15	メイクアップまとめ	骨格を把握し、モデルに合う メイクを作る		
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：メイク演習 A		森山	1 年 後期	
到達目標	クオリティーの高い作品を作る為、細かなテクニックの精度を上げる			4単位 64時数
				実務経験 化粧品会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	ファッションショーのためのメイクアシスタントとしての動き	スキンケア～ベース、ポイントメイク 時間配分		
2	ボディジュエリー基本	道具の使い方 傷メイクの作り方		
3	特殊メイク基本	傷メイクの応用編		
4	特殊メイク (ハロウィンメイク)	syu uemura クレンジング～メソッド ベースメイクまでの基本、手順、手技		
5	グラデーション、発色、色のバランス極める	syu uemura リップ基本		
6	美しいラインの描き方	syu uemura アイメイク、アイブロウ ポイントメイク基本		
7	美しいグラデーションの造り方：ブラシワーク	検定の流れ		
8	syu uemura シグネチャーメソッド総復習	検定の流れ		
9	syu uemura シグネチャーメソッド総まとめ	テーマにそったオリジナル作品		
10	オリジナル作品制作・デザイン画作成	メイクのつくり方、心構え スチールメイクとの違い		
11	ショーのためのステージメイクについて	テクニック向上		
12	ショーのためのステージメイク (ヘア・衣装とのバランス、色使い、濃さ、発色)	対応力		
13	ショーのためのステージメイク (見せ方、パフォーマンス、時間配分)	トータルプロデュース向上		
14	ショーのためのステージメイク仕上げ			
15	総まとめ			
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：認定エステティシャン		西村	2年 前期	
到達目標	1、エステティシャンになる上で必要な知識を学ぶ			4単位 64時数
	2、センター試験例題集を紐解きながら知識の習得と認定エステティシャン合格を目指す			実務経験 美容関連会社勤務歴有
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	JEEC筆記対策 運動生理学 心身生理学/生命活動とホメオスタシス		問題集演習	
2	JEEC筆記対策 前回の復習 栄養学		問題集演習	
3	JEEC筆記対策 前回の復習 化粧品学		問題集演習	
4	JEEC筆記対策 前回の復習 電気学・機器学		問題集演習	
5	JEEC筆記対策 前回の復習 衛生・消毒/衛生管理		問題集演習	
6	JEEC筆記対策 前回の復習 サロンでの救急法		問題集演習	
7	JEEC筆記対策 前回の復習 エステティックカウンセリング/サロンマネジメント/経営学		問題集演習	
8	JEEC筆記対策 前回の復習 フェイシャル実技理論		問題集演習	
9	JEEC筆記対策 前回の復習 ボディ実技理論/ワックス脱毛実技理論		問題集演習	
10	JEEC筆記対策 模擬テスト		問題集演習	
11	JEEC筆記対策 模擬テスト		問題集演習	
12	Ajesthe 上級筆記対策		問題集演習	
13	Ajesthe 上級筆記対策		問題集演習	
14	Ajesthe 上級筆記対策		問題集演習	
15	Ajesthe 上級筆記対策 まとめ 復習テスト 解説・解答			
16	確認テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：認定エステシャン		西村	2年 後期	
到達目標	1、エステシャンになる上で必要な知識を学ぶ			4単位 64時数
	2、センター試験例題集を紐解きながら知識の習得と認定エステシャン合格を目指す			実務経験 美容関連会社勤務歴有
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	生理解剖学 (身体の構造と働き/骨格系・筋肉系)	問題集演習		
2	生理解剖学 (器官系等毎のポイント)	問題集演習		
3	生理解剖学 (脳と神経系/内分泌系)	問題集演習		
4	運動生理学 (運動による身体の変化と作用)	問題集演習		
5	運動生理学 (姿勢・体幹・運動法)	問題集演習		
6	栄養学 (消化と吸収/同化・異化作用)	問題集演習		
7	栄養学 (栄養素の特徴と身体・肌への影響)	問題集演習		
8	電気・機器学 (電気の特徴とサロン機器)	問題集演習		
9	機器の特徴を生かしたトリートメント	問題集演習		
10	公衆衛生・衛生管理 / 救急法	問題集演習		
11	サロンにおける救急法の実際 エステティックカウンセリング ①	問題集演習		
12	エステティックカウンセリング ②	問題集演習		
13	サロンマネージメント・サロン経営	問題集演習		
14	サロンマネージメント・サロン経営	問題集演習		
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：AJESTHEセミナー		西村	2年 前期	
到達目標	1. センター試験の内容をさらに深めて、アドバイスカ・コンサルテーション力を高める			4単位 64時数
	2. AJESTHE上級筆記試験の内容理解と試験合格を目指す			実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	AJESTHE上級筆記試験対策	皮膚科学・化粧品学		問題集の活用
2	AJESTHE上級筆記試験対策	皮膚科学・化粧品学		問題集の活用
3	AJESTHE上級筆記試験対策	皮膚科学・化粧品学		問題集の活用
4	AJESTHE上級筆記試験対策	運動生理学・栄養学		問題集の活用
5	AJESTHE上級筆記試験対策	運動生理学・栄養学		問題集の活用
6	AJESTHE上級筆記試験対策	電気・機器学		問題集の活用
7	AJESTHE上級筆記試験対策	電気・機器学		問題集の活用
8	AJESTHE上級筆記試験対策	エステ実技理論		問題集の活用
9	AJESTHE上級筆記試験対策	エステ実技理論		問題集の活用
10	AJESTHE上級筆記試験対策 (模擬試験)			
11	AJESTHE上級筆記試験対策 (模擬試験)			
12	AJESTHE上級筆記試験対策	傾向と対策		
13	AJESTHE上級筆記試験対策 受験			
14	サロンワーク①			
15	サロンワーク②			
16	期末試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：AJESTHEセミナー		西村	2年 後期	
到達目標	1、コミュニケーション力向上と商品や技術の魅力を伝える能力を養う			4単位 64時数
	2、AJESTHE上級試験の内容理解と試験合格を目指す			実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	AJESTHE上級筆記試験対策	エステティック概論		問題集の活用
2	AJESTHE上級筆記試験対策	サロン経営・接客マナー・救急法		問題集の活用
3	AJESTHE上級筆記試験対策	関連法規・公衆衛生・管理		問題集の活用
4	AJESTHE上級筆記試験対策	皮膚科学・化粧品学		問題集の活用
5	AJESTHE上級筆記試験対策	解剖生理学・運動生理学		問題集の活用
6	AJESTHE上級筆記試験対策	運動生理学・栄養学		問題集の活用
7	AJESTHE上級筆記試験対策	電気・機器学		問題集の活用
8	AJESTHE上級筆記試験対策	エステ実技理論		問題集の活用
9	AJESTHE上級筆記試験対策	メイク・ネイル		問題集の活用
10	AJESTHE上級筆記試験対策 (模擬試験)			
11	AJESTHE上級筆記試験対策 (模擬試験)			
12	AJESTHE上級筆記試験対策	傾向と対策		
13	AJESTHE上級筆記試験対策 受験			
14	サロンワーク①			
15	サロンワーク②			
16	期末試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ビューティービジネス		藤武	2年 前期	
到達目標	リフレクソロジーの成り立ちと反射区を理解し、予防美容の一つとしての知識と技術の習得			2単位 32時数
				実務経験 美容関連会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	アロマセラピーとは 概要			
2	アロマセラピーと美容への活用法			
3	予防医学としての考え方 活用事例			
4	予防医学としての考え方 活用事例			
5	ストレスと病気予防			
6	予防医学としての考え方 活用事例			
7	アロマセラピーと美容への活用法			
8	アロマセラピーと美容への活用法			
9	相モデルによる練習			
10	相モデルによる練習			
11	相モデルによる練習			
12	相モデルによる練習			
13	模擬試験			
14	振り返り			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ビューティービジネス		小川	2年 後期	
到達目標	・東洋医学の基礎理解		・自分の体質を知る	
	・薬膳の基礎理解		・生活への活用	
	・アキュレッチフェイスマッサージ習得		・骨盤補正整体習得	
		2単位 32時数		実務経験 美容関連会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	①東洋医学の特徴・冷え		アキュレッチ	
	課題への取り組み姿勢		手順、内容説明	
2	②陰陽五行説・肩こり		アキュレッチ	
	課題への取り組み姿勢		顔の見方、相モデル	
3	③気血水・生理痛		アキュレッチ	
	課題への取り組み姿勢		穴の位置確認、相モデル	
4	④食養生・自律神経・頭痛		アキュレッチ	
	課題への取り組み姿勢		東洋的カウンセリング	
5	⑤相モデルを通して技術		ご案内～アフターカウンセリング	
	課題への取り組み姿勢		カルテ記入も同時に行う	
6	⑥テスト			
	筆記 実技			
7	⑦総合解説			
	耳つぼ体験			
8	①生命の起源、定義陰陽論、養生論		骨盤補正整体	
	課題への取り組み姿勢		手順、内容説明	
9	②五行学説		骨盤補正整体	
	課題への取り組み姿勢		体の見方、相モデル	
10	③五臓六腑の生理機能		骨盤補正整体	
	課題への取り組み姿勢		左右	
11	④気血水と体の関わり体質分類・形成		骨盤補正整体	
	課題への取り組み姿勢		表裏	
12	⑤五味五性、食べ物の食性		骨盤補正整体	
	課題への取り組み姿勢		相モデル通して技術	
13	⑥中医学・食材学		骨盤補正整体	
			相モデル通して技術	
14	⑦テスト			
	筆記 実技			
15	⑧総合解説			
	質疑応答			
16	筆記試験			
	実技試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：フェイシャルアドバンス		藤武	2年 後期	
到達目標	1、AJESTHE上級エステティシャン試験に合格する 2、肌診断、コンサルテーション、応用手技のマスター			6単位 96時数
				実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	フェイシャルエステティックとコンサルテーション 各種ディープクレンジングの一連の流れ			
2	エフェクティブフェイシャルマッサージ	手技の特徴と手法を学ぶ		
3	エフェクティブフェイシャルマッサージ コンサルテーション			
4	エフェクティブフェイシャルマッサージ コンサルテーション			
5	エフェクティブフェイシャルマッサージ コンサルテーション			
6	エフェクティブフェイシャルマッサージ AJESTHE上級試験対策			
7	目的別フェイシャルマッサージ AJESTHE上級試験対策			
8	目的別フェイシャルマッサージ AJESTHE上級試験対策	フェイシャル通し練習と口頭試問		
9	目的別フェイシャルマッサージ AJESTHE上級試験対策	フェイシャル通し練習と口頭試問		
10	AJESTHE上級試験対策（機器）	フェイシャル通し練習と口頭試問		
11	サロンワーク			
12	サロンワーク			
13	サロンワーク			
14	サロンワーク			
15	試験			
16	振り返り			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：フェイシャルアドバンス		藤武	2年 前期	
到達目標	1、フェイシャルエステティックで使用する各機器 2、フェイシャルエステ「ケースに合わせたプラン」作成			6単位 96時数
				実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	フェイシャルエステティックの基礎理論 化粧品の特徴と種類	施術に入るための準備と片付け 商材を理解		
2	フェイシャルクレンジング① クレンジング～拭き取り（スポンジ）手順	クレンジングの工程		
3	フェイシャルクレンジング② クレンジング～拭き取り（スポンジ+HOTタオル）手順	クレンジングの工程		
4	ディープクレンジング ①	酵素・吸引		
5	ディープクレンジング ②	ブラシ洗顔		
6	ディープクレンジング ③	ピーリング		
7	ディープクレンジング ④ 電気機器学（フェイシャル機器の取り扱いと電気の作用）	エレクトロクレンジング		
8	確認テスト	ディープクレンジングまでの一連の流れをマスター		
9	肌質の見分け方			
10	カウンセリングに基づいたフェイシャルケアの選択	コンサルテーションを学ぶ		
11	カウンセリングに基づいたフェイシャルケアの選択	コンサルテーションを学ぶ		
12	カウンセリングに基づいたフェイシャルケアの選択	コンサルテーションを学ぶ		
13	カウンセリングに基づいたフェイシャルケアの選択	コンサルテーションを学ぶ		
14	パック（肌別選択と塗布、オフの手順）			
15	フェイシャルマッサージ 通し練習			
16	確認テスト	マッサージ		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ボディアドバンス		藤武	2年 前期	
到達目標	1、ボディマッサージテクニックの上達と応用力を身につけ「AJESTHE上級試験」合格を目指す		4単位 64時数	
	2、ボディコンサルテーション力の上達		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	ボディの応用技術と各名称の学ぶ			
2	トラブルケアと施術からみた骨格と骨格筋の理解を深める			
3	トラブルケアと施術からみた骨格と骨格筋の理解を深める			
4	トラブルケアと施術からみた骨格と骨格筋の理解を深める			
5	効果的なボディマッサージ (部位別)			
6	効果的なボディマッサージ (部位別)			
7	効果的なボディマッサージ (部位別)			
8	効果的なボディマッサージ (部位別)			
9	効果的なボディマッサージ (部位別)			
10	ボディマッサージ (筋膜)			
11	ボディマッサージ (筋膜)			
12	ボディマッサージ (筋膜)			
13	試験			
14	ボディ機器			
15	ボディ機器			
16	ボディ機器			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ボディアドバンス		藤武	2年 後期	
到達目標	1、AJESTHE上級エステティシャン試験に合格する 2、機器の応用、コンサルテーション、応用手技のマスター			4単位 64時数
				実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	AJESTHE上級実技試験対策	通し練習		
		苦手克服		
2	AJESTHE上級実技試験対策	コンサルテーション強化		
3	AJESTHE上級実技試験対策	口頭試験強化		
4	AJESTHE上級模擬試験	実際の試験を想定した試験 個々の課題を認識		
5	AJESTHE上級実技試験対策	個々の課題克服に努める		
6	AJESTHE上級実技試験対策	個々の課題克服に努める		
7	AJESTHE上級実技試験対策	個々の課題克服に努める		
8	AJESTHE上級実技試験対策	個々の課題克服に努める		
9	『 AJESTHE上級エステティシャン試験 』実施			
10	ボディ機器の活用	ペアを決めて、お悩みを改善するためのプラン 作成と実行		
11	ボディトリートメント (エフェクティブマッサージ)			
12	ボディトリートメント (リンパドレナージュ)			
13	ボディトリートメント (ケースワーク)			
14	ボディトリートメント (ケースワーク)			
15	ボディトリートメント (ケースワーク)			
16	期末試験	ビフォーアフターの発表		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：アロマセラピー		中村	2年 前期	
到達目標	1、精油の特色や取り扱い方を理解する			4単位 64時数
	2、アロマコーディネーターとしての基礎知識を身につける			実務経験
	3、アロマコーディネーターライセンス取得を目指す			美容関連会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	精油の基礎知識		取り扱い方、注意事項、禁忌事項	
2	精油の基礎知識		香りの歴史、抽出方法と部位による特徴	
3	精油の基礎知識		人間の脳と嗅覚	
4	精油の活用		キャリアオイル ブレンド比率	
5	精油の活用		キャリアオイル ブレンド比率	
6	精油の活用		オイルトリートメント	
7	基礎検定試験		アロマの歴史、オイルの特徴	
8	解答・解説		試験問題解答解説	
9	アロマと解剖学		呼吸器系と循環器系	
10	香りの心理		ルームフレグランスと香りの心理効果	
11	精油の効果		精油に含まれる成分	
12	試験対策		アロマコーディネーターライセンス	
13	試験対策		アロマコーディネーターライセンス	
14	試験対策		アロマコーディネーターライセンス	
15	試験 (模擬試験)		アロマコーディネーターライセンス	
16	アロマコーディネーター試験		日本アロマコーディネーター協会ライセンス試験実施	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：サロンワーク		藤武	1 年 前期	
到達目標	サロンでの実践をイメージして接客対応、トリートメント、次回来店につなげる意識を持つ 様々な美容技術をコーディネートし、応用力を身につける			4単位 64時数
				実務経験 エステサロン勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	おもてなしの心 接客対応/サロンの導線			
2	事前準備			
3	各自、担当顧客に対してカウンセリングとコンサルティング お悩みに対するプランを考える			
4	ケースワーク① 施術とアフターカウンセリング	プランに沿ったトリートメントを行い、検証と アドバイスを実践		
5	ケースワーク② 施術とアフターカウンセリング	プランに沿ったトリートメントを行い、検証と アドバイスを実践		
6	ケースワーク③ 施術とアフターカウンセリング	プランに沿ったトリートメントを行い、検証と アドバイスを実践		
7	ケースワーク④ 施術とアフターカウンセリング	プランに沿ったトリートメントを行い、検証と アドバイスを実践		
8	ケースワーク⑤ 施術とアフターカウンセリング	プランに沿ったトリートメントを行い、検証と アドバイスを実践		
9	ケースワーク⑥ 施術とアフターカウンセリング	プランに沿ったトリートメントを行い、検証と アドバイスを実践		
10	一定期間の成果の確認			
11	結果に対する考察と研究			
12	結果に対する考察と研究			
13	課題			
14	課題			
15	課題のプレゼン			
16	振り返り			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：サロンワーク		藤武	2年 後期	
到達目標	1、様々な肌トラブルや目的に対応できる判断力と技術を身につけ「AJESTHE上級試験」合格を目指す			4単位 64時数
	2、エステティシャンとしての自覚と現場で即戦力になれる応用力を身につける			実務経験
	3、サロンワーク実践			エステサロン勤務歴/有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	フェイシャル機器 (ディーブクレンジング)	AJESTHE上級試験を意識したレッスン		
2	フェイシャル機器 (ディーブクレンジング)	AJESTHE上級試験を意識したレッスン		
3	フェイシャル機器 (スチーマーと吸引)	AJESTHE上級試験を意識したレッスン		
4	AJESTHE上級模擬試験	実際の試験を想定した試験 個々の課題を認識		
5	フェイシャル機器 (バター) リンパ系の理解	AJESTHE上級試験を意識したレッスン		
6	サロンワークと流れの実践	AJESTHE上級試験を意識したレッスン		
7	ガルバニックトリートメント①	AJESTHE上級試験を意識したレッスン		
8	ガルバニックトリートメント②	AJESTHE上級試験を意識したレッスン		
9	『 AJESTHE上級エステティシャン試験 』実施			
10	スチューデントサロン開設に向けて	学びの実践 ～集客から、コンサルテーション、施術、サロン運営～		
11	スチューデントサロン			
12	コンサルテーション力を磨く			
13	サロンワークと流れの実践			
14	サロンワークと流れの実践			
15	サロンワークと流れの実践			
16	筆記試験			
	実技試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ネイル	藤田	1年 前期	
到達目標	1、JNEC3級取得（申込期限5/7～6/2）試験日7/18（日）		4単位 64時数
	2、ネイルの基礎を学び知識と技術をマスターし検定合格を目指す		実務経験
	3、		ネイリストとしてサロン経営/有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	前期授業の流れ テーブルセッティング、品名ラベル貼り	品名ラベルを貼り テーブルセッティングを作る	
2	座学：ネイルの歴史、技術体系 実技：清書、ファイル、パフイング、シャイナ（ハンド）	5種のカットスタイルを作る 指の持ち方、気をつける事、チップの装着方法	
3	座学：爪の構造と動き、皮膚科学 実技：クリーンナップ（自分の手）	ブッシュバック、アップを学ぶ ニッパーの持ち方、切り方	
4	座学：爪の病気とトラブル 実技：カラーリング、カラーオフ（ハンド）	赤のポリッシュを塗る、塗り方	
5	座学：消毒法 実技：アート5枚花（ハンド）	5枚花とバラ	
6	座学：生理解剖学、化粧品学 実技：ファイル～クリーンナップ（相モデル）	・ファイルからクリーンナップの流れを 相モデルで行う（40分）	
7	座学：プロフェッショナリズム 実技：カラー～アート（相モデル）	・カラーからアートまでの流れを 相モデルで行う（30分）	
8	検定対策（JNEC3級） ・相モデル（70分）・過去問テスト・要項説明	・相モデル70分、オフなし60分で タイムトライアル	
9	検定対策（JNEC3級） ・相モデル（70分）・過去問テスト・要項説明	・過去問1回分を解く	
10	検定対策（JNEC3級） ・相モデル（70分）・過去問テスト・要項説明	・過去問1回分を解く	
11	検定対策（JNEC3級） ・相モデル（70分）・過去問テスト・要項説明	・過去問1回分を解く	
12	2級の技術を学ぶ ・チップラップ（ハンド、自分の手）	・2級検定の説明（任意） ・チップラップの手順やポイント	
13	・チップラップ（ハンド、自分の手）	・デモ	
14	・カラーリング、アート	・色々なカラーを塗ってみよう ・アートは過去のテーマで	
15	・カラーリング、アート、チップラップテスト	・1コマずつ2級の流れで実技テスト	
16			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ネイル	藤田	1年 後期	
到達目標	1、JNEC3級取得（申込期限5/7～6/2）試験日7/18（日）	4単位 64時数	
	2、ネイルの基礎を学び知識と技術をマスターし検定合格を目指す	実務経験	
	3、	ネイリストとしてサロン経営/有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	前期授業の流れ テーブルセッティング、品名ラベル貼り	品名ラベルを貼り テーブルセッティングを作る	
2	座学：ネイルの歴史、技術体系 実技：清書、ファイル、パフイング、シャイナ（ハンド）	5種のカットスタイルを作る 指の持ち方、気をつける事、チップの装着方法	
3	座学：爪の構造と動き、皮膚科学 実技：クリーンナップ（自分の手）	ブッシュバック、アップを学ぶ ニッパーの持ち方、切り方	
4	座学：爪の病気とトラブル 実技：カラーリング、カラーオフ（ハンド）	赤のポリッシュを塗る、塗り方	
5	座学：消毒法 実技：アート5枚花（ハンド）	5枚花とバラ	
6	座学：生理解剖学、化粧品学 実技：ファイル～クリーンナップ（相モデル）	・ファイルからクリーンナップの流れを 相モデルで行う（40分）	
7	座学：プロフェッショナリズム 実技：カラー～アート（相モデル）	・カラーからアートまでの流れを 相モデルで行う（30分）	
8	検定対策（JNEC3級） ・相モデル（70分）・過去問テスト・要項説明	・相モデル70分、オフなし60分で タイムトライアル	
9	検定対策（JNEC3級） ・相モデル（70分）・過去問テスト・要項説明	・過去問1回分を解く	
10	検定対策（JNEC3級） ・相モデル（70分）・過去問テスト・要項説明	・過去問1回分を解く	
11	検定対策（JNEC3級） ・相モデル（70分）・過去問テスト・要項説明	・過去問1回分を解く	
12	2級の技術を学ぶ ・チップラップ（ハンド、自分の手）	・2級検定の説明（任意） ・チップラップの手順やポイント	
13	・チップラップ（ハンド、自分の手）	・デモ	
14	・カラーリング、アート	・色々なカラーを塗ってみよう ・アートは過去のテーマで	
15	・カラーリング、アート、チップラップテスト	・1コマずつ2級の流れで実技テスト	
16			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ネイルⅡ		藤田	2年 前期	
到達目標	1、JNECネイリスト技能検定試験合格を目指す		4単位 64時数	
	2、ジェルネイルの基礎を学び知識をマスターする		実務経験	
	3、		ネイリストとしてサロン経営/有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	検定対策 70分タイムトライアル		(相モデル)	
			反復練習	
2	検定対策 70分タイムトライアル		(相モデル)	
	エメリーボード、オレンジウッドスティックカットスタイル デモ		反復練習	
3	JNEC3級 検定前最終チェック			
4	ジェルネイル基礎理論		トレーニングハンド使用	
	プレパレーションからベース、カラー、トップまでデモ		使用方法・セッティング	
5	ジェルネイル			
	プレパ、ベース、カラー、トップ +オフを学ぶ			
6	プレパ、ベース、カラー、トップ、オフ			
7	ピーコックアート			
8	フレンチネイル			
9	グラデーションネイル			
10	ラメを使ってフレンチ、グラデーション			
11	トレンド! 重ね花、タイダイ柄、ミラーネイルetc			
12	作品制作			
	コラージュ、デザイン画			
13				
14				
15				
16	課題提出			

学校名：専門学校九州スクールオブビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ネイルⅣ		藤田	■ 2年 後期	
到達目標	1、JNAジェルネイル検定初級合格！		4単位 64時数	
	2、これまでの技術プラス応用技術が出来る様になり作品作りに生かせる技術をマスターする		実務経験	
	3、		ネイリストとしてサロン経営/有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	ジェルネイル検定対策 ・要項詰め合わせ・タイムトライアル相モデル60分	新しいセッティング確認	筆記問題配布	
2	ジェルネイル検定対策 ・セッティング・相モデル60分+オフ			
3	ジェルネイル検定対策 ・セッティング・相モデル60分+オフ			
4	ジェルネイル検定対策 ・セッティング・相モデル60分+オフ		次回：トレハンに 10分チップラウンドまで	
5	ジェルネイル検定対策 ・トレーニングハンドでトライアル・35分ケア(相モ)			
6	ジェルネイル検定対策 ・35分ケア(相モ)・トレーニングハンドで60分			
7	ジェルネイル検定対策 ・35分ケア・トレーニングハンドで60分		次回：チップとアクリルセット	
8	ジェルネイル検定対策 ・35分ケア・アクリルでチップ着け	・要項確認 ・受験票、チェックシート確認	12/4 JNA初級 次回：デザイン画を描くもの	
9	作品作成 コラージュを見ながらデザイン画			
10	作品作成		チップ配布	
11	作品作成			
12	作品作成			
13	作品作成			
14	作品作成			
15	作品作成 提出			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：総合演習		藤武	2年 後期	
到達目標	1、様々な肌トラブルや目的に対応できる判断力と技術を身につけ「AJESTHE上級試験」合格を目指す			4単位 64時数
	2、エステティシャンとしての自覚と現場で即戦力になれる応用力を身につける			実務経験
	3、サロンワーク実践			エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	フェイシャル機器 (ディープクレンジング)	技術の定着と理解度アップ		
2	フェイシャル機器 (ディープクレンジング)	技術の定着と理解度アップ		
3	フェイシャル機器 (スチーマーと吸引)	技術の定着と理解度アップ		
4	フェイシャル機器 (エレクトロクレンジング)	技術の定着と理解度アップ		
5	フェイシャル機器 (バター) リンパ系の理解	技術の定着と理解度アップ		
6	サロンワークと流れの実践			
7	ガルバニックトリートメント①	引き合う力		
8	ガルバニックトリートメント②	反発する力		
9	技術の総復習			
10	スチューデントサロン開設に向けて	学びの実践 ～集客から、コンサルテーション、施術、サロン運営～		
11	スチューデントサロン			
12	AJESTHE上級試験に向けて① コンサルテーション力を磨く			
13	AJESTHE上級試験に向けて② コンサルテーション力を磨く			
14	AJESTHE上級試験に向けて③ 技術力を磨く			
15	AJESTHE上級試験に向けて④ 技術力を磨く			
16	筆記試験	後期AJESTHE上級試験対策		
	実技試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：メイク演習IB		森山	1年 前期	
到達目標	1、スキンケアの手順、ベースメイクの作り方、ポイントメイクの表現などメイクアップの基本テクニックを習得する			4単位 64時数
	2、セルフメイク（就活メイク、より魅力を増すメイク、イメージメイク）を極める			実務経験 化粧品会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	セルフメイク（就活メイク）自分に似合うメイクを知る	スキンケアからポイントメイクまで セルフメイクの知識・技術を習得する		
2	セルフメイク（なりたいイメージに合わせたメイク） 自分の魅せ方を知る	スキンケアからポイントメイクまで セルフメイクの知識・技術を習得する		
3	メイクアップの必要性、メイクの役割、スタンス解説 スキンケアの手順（クレンジング～ファンデーション塗布まで）	スキンケアの役割、メイクアップの 必要性を知り、実践（相モデル）		
4	スキンケアからベースメイク (クレンジング～ファンデーション塗布まで)	手順を覚えて美しく仕上げる		
5	ファンデーションからベースメイク、リップ	ファンデーションを美しく塗布 リップのスタンダードテクニック習得		
6	ベースメイク、アイメイク	ベースメイクの完成度を上げ、 アイメイクのスタンダードテクニック習得		
7	ベースメイク、アイブロウ	ベースメイクの完成度を上げ、 アイブロウのスタンダードテクニック習得		
8	ベースメイク、チーク	チークのナチュラルな入れ方、スタン ダードメイクの完成、テクニック習得		
9	骨格に合わせたメイクアップ	スキンケアをしながら骨格を把握し メイクアップする		
10	メイクアップの応用（丸）	可愛らしく見せるメイ クの作り方を習得		
11	メイクアップの応用（三角）	かっこよく見せるメイ クの作り方を習得		
12	メイクアップの応用（四角）	大人っぽくエレガントに見せるメイ クの作り方を習得		
13	バランスのとれたメイクアップ（丸・キュート）	丸・キュートメイクまとめ		
14	バランスのとれたメイクアップ（三角・クール）	三角・クールメイクまとめ		
15	メイクアップまとめ	骨格を把握し、モデルに合う メイクを作る		
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ヘアアレンジ	西	1年 後期	
到達目標	1、各道具の扱い方、毛髪知識、造形知識 2、基本の技術を組み合わせて簡単なまとめ髪のアレンジができることを目標 3、ニュアンスヘアアレンジ、編み込み		4単位 64時数 実務経験 美容師・美容室勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	ヘアアレンジのための専門用語 (実技)ヘアアイロン(基本巻)カールアレンジ束結	各道具の基本的な扱い方・使い方 ・ コームテクニック、ゴムの結び方	
2	毛髪基本知識 ポンパ風ハーフアップ ブローテクニック(自然なストレートを生かしたアレンジ)	・ドライヤーの使い方、ヘアアイロン ・ホットカーラー、ピンニング	
3	ホットカーラーを使ってニュアンスヘア	・各ブラシの使い方、ブロッキング など	
4	・ギブソンタック(ツイスト編み) ・ウォーターフォール(ロープ編み) ・フィッシュボーン(表編み)	【課題作品】 ・ボンパドール(ハーフアップ)	
5	・編み込み(ブレイド) 似合わせのための造形知識	・ギブソンタック(ダウンスタイル) ・ツイスト(ロープ編み)	
6	トッパシニヨン基礎	・フィッシュボーン(二つ編み) ・ウォーターフォール(表編)	
7	↓	・シニヨン(トッパ・ダウン) など	
8	編み込み(ブレイド) (表・裏)二つ編、三つ編	【ヘアケア化粧品の使い方】 【デザイン画(基本)】	
9	↓		
10	編み込みを生かした作品		
11	片編みアップ・シニヨン 四つ編みアレンジなど		
12			
13			
14			
15			
16	試験		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ヘアアレンジ		西	1年 後期	
到達目標	1、各道具の扱い方、毛髪知識、造形知識			4単位 64時数
	2、基本の技術を組み合わせて簡単なまとめ髪のアレンジができることを目標			実務経験
		3、ニュアンスヘアアレンジ、編み込み		
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	ヘアアレンジのための専門用語		各道具の基本的な扱い方・使い方	
	(実技) ヘアアイロン (基本巻) カールアレンジ束結		・ コームテクニック、ゴムの結び方	
2	毛髪基本知識 ポンパ風ハーフアップ		・ ドライヤーの使い方、ヘアアイロン	
	ブローテクニック (自然なストレートを生かしたアレンジ)		・ ホットカーラー、ピンニング	
3	ホットカーラーを使ってニュアンスヘア		・ 各ブラシの使い方、ブロッキング	
	・ ギブソンタック (ツイスト編み)		など	
4	・ ウォーターフォール (ロープ編み)		【課題作品】	
	・ フィッシュボーン (表編み)		・ ポンパドール (ハーフアップ)	
5	・ 編み込み (ブレイド)		・ ギブソンタック (ダウンスタイル)	
	似合わせのための造形知識		・ ツイスト (ロープ編み)	
6	トップシニヨン基礎		・ フィッシュボーン (二つ編み)	
	↓		・ ウォーターフォール (表編)	
7	↓		・ シニヨン (トップ・ダウン)	
	↓		など	
8	編み込み (ブレイド)		[ヘアケア化粧品の使い方 [デザイン画 (基本)	
	(表・裏) 二つ編、三つ編			
9	↓			
	↓			
10	編み込みを生かした作品			
	[片編みアップ・シニヨン			
11	[四つ編みアレンジなど			
	↓			
12	↓			
	↓			
13	↓			
	↓			
14	↓			
	↓			
15	↓			
	↓			
16	試験			
	↓			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：メイク演習 C		森山	1 年 後期	
到達目標	1、スキンケアの手順、ベースメイクの作り方、ポイントメイクの表現などメイクアップの基本テクニックを習得する			6単位 96時数
	2、セルフメイク（就活メイク、より魅力を増すメイク、イメージメイク）を極める			実務経験 化粧品会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	セルフメイク（就活メイク）自分に似合うメイクを知る	スキンケアからポイントメイクまで セルフメイクの知識・技術を習得する		
2	セルフメイク（なりたいイメージに合わせたメイク） 自分の魅せ方を知る	スキンケアからポイントメイクまで セルフメイクの知識・技術を習得する		
3	メイクアップの必要性、メイクの役割、スタンス解説 スキンケアの手順（クレンジング～ファンデーション塗布まで）	スキンケアの役割、メイクアップの 必要性を知り、実践（相モデル）		
4	スキンケアからベースメイク (クレンジング～ファンデーション塗布まで)	手順を覚えて美しく仕上げる		
5	ファンデーションからベースメイク、リップ	ファンデーションを美しく塗布 リップのスタンダードテクニック習得		
6	ベースメイク、アイメイク	ベースメイクの完成度を上げ、 アイメイクのスタンダードテクニック習得		
7	ベースメイク、アイブロウ	ベースメイクの完成度を上げ、 アイブロウのスタンダードテクニック習得		
8	ベースメイク、チーク	チークのナチュラルな入れ方、スタン ダードメイクの完成、テクニック習得		
9	骨格に合わせたメイクアップ	スキンケアをしながら骨格を把握し メイクアップする		
10	メイクアップの応用（丸）	可愛らしく見せるメイ クの作り方を習得		
11	メイクアップの応用（三角）	かっこよく見せるメイ クの作り方を習得		
12	メイクアップの応用（四角）	大人っぽくエレガントに見せるメイ クの作り方を習得		
13	バランスのとれたメイクアップ（丸・キュート）	丸・キュートメイクまとめ		
14	バランスのとれたメイクアップ（三角・クール）	三角・クールメイクまとめ		
15	メイクアップまとめ	骨格を把握し、モデルに合う メイクを作る		
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：メイク演習 C		森山	1 年 後期	
到達目標	テーマに沿って、ビューティー・アート・ファッション性を感じられるような トータルプロデュースの作品を制作する			6単位 96時数
				実務経験 化粧品会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	ファッションショーの為のメイク	ビューティーメイクとの違いポイント理解		
2	ファッションショーの為のメイク	コレクション動画を見てインスピレーション		
3	ファッションショーの為のメイク	イメージを膨らませ、形にする		
4	特殊メイク応用 (ハロウィンメイク)	傷メイク応用		
5	作品制作テーマ発表	作品制作の概要、主旨を理解する		
6	モードなメイク作り	色使い、質感、トレンドを理解し表現する		
7	撮影用スチールメイク	ライン、グラデーション、発色、質感		
8	ショー用ステージメイク	ステージ上での発色 ダイナミックに作るテクニック		
9	作品制作 オリジナルメイクデザイン実践	デザイン5パターン	ショーの演出・照明・音楽	
10	作品制作 オリジナルメイクデザイン実践	デザイン決定		
11	ヘア・衣装・小物とのバランスを考えたメイク作り	トータルプロデュース力の向上		
12	ヘア・衣装・小物とのバランスを考えたメイク作り	トータルプロデュース力の向上		
13	作品制作 ステージメイク仕上げ	トータルプロデュース力の向上		
14	作品制作 ステージメイク仕上げ	トータルプロデュース力の向上		
15	総まとめ	トータルプロデュース力の向上		
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：IBF		渡邊	1年 後期	
到達目標	イメージの捉え方を理解			4単位 64時数
	似合わせとイメージメイクでモデルの雰囲気を換えられる			実務経験
	テクニック習得と理論			IBF認定講師
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	スタンダード似合わせメイク定義と実習	スタンダードメイクの解説、展示、相モデル		
2	シャープメイクの定義解説と実習	シャープメイクの解説、展示、相モデル		
3	シャープメイク似合わせ	骨格に合わせたポイント解説、相モデル		
4	シャープメイク似合わせ復習	骨格に合わせたポイント解説、相モデル		
5	ポリッシュメイクの定義解説と実習	ポリッシュメイクの解説、展示、相モデル		
6	ポリッシュメイク似合わせ	骨格に合わせたポイント解説、相モデル		
7	ポリッシュメイク似合わせ復習	骨格に合わせたポイント解説、相モデル		
8	ウエディングメイクの定義解説と実習	ウエディングメイクの解説、展示、相モデル		
9	ウエディングメイク似合わせ	骨格に合わせたポイント解説、相モデル		
10	ウエディングメイク似合わせ復習	骨格に合わせたポイント解説、相モデル		
11	シャープメイク復習			
12	ポリッシュメイク復習			
13	ウエディングメイク復習			
14	苦手テーマトレーニング			
15	IBF国際ライセンス試験			
16	振り返り			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：カラー診断		姫野	2年 前期	
到達目標	色の特性を理解しその人にあった最適なカラー選びやアドバイスができる			2単位 32時数
				実務経験 美容関連会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	イメージカラー／4シーズンの特性と主観色 チェックリスト作成			
2	4シーズンの特性と主観色完成 クラスメイトのチェックリスト分析			
3	4シーズンの日焼け・肌・主観色			
4	ファンデーションチェック実習 ドレーピング			
5	カラードレーピング実習			
6	カラードレーピング実習			
7	カラー診断実習			
8	カラー診断実習			
9	カラー診断実習			
10	カラー診断実習			
11	カラー診断実習			
12	総合演習			
13	色彩心理 (暖色)			
14	色彩心理 (寒色)			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：メイクアップクリエイションA		森山	2年 前期	
到達目標	1、メイクの基本テクニックを身につけ、更に想像力・表現力も養う			6単位 96時数
	2、オリジナルのメイク作品を制作できるようになる			実務経験
	3、セルフメイク（就活メイク、より魅力を増すメイク、イメージメイク）を極める			化粧品会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	セルフメイク（就活メイク）実践	自分に似合うメイクを見つけて セルフメイクする		
2	セルフメイク（なりたいイメージ・魅力的にみせるメイク） 実践	イメージに合わせたメイクを セルフメイクする		
3	スキンケアの手順（クレンジング～ファンデーション塗布まで） shu uemura シグネチャーメソッド	メイクアップの必要性、 スキンケアの役割を知り、実践		
4	スキンケアからベースメイク (クレンジング～ファンデーション塗布まで)	手順を覚え、美しく仕上げる		
5	ファンデーションからベースメイク、リップ	ファンデーションを美しく塗布 リップのスタンダードテクニック習得		
6	ベースメイク、アイメイク	ベースメイクの完成度を上げ、 アイメイクのスタンダードテクニック習得		
7	ベースメイク、アイブロウ	ベースメイクの完成度を上げ、 アイブロウのスタンダードテクニック習得		
8	ベースメイク、チーク	チークのナチュラルな入れ方、スタン ダードメイクの完成、テクニック習得		
9	骨格に合わせたメイクアップ	スキンケアをしながら骨格を把握し メイクアップする		
10	フルメイクを完成させる	モデル似合うメイクを作る		
11	キュートメイク	可愛く見せる為の メイクの作り方、色使い		
12	クールメイク	かっこよく見せる為の メイクの作り方、色使い		
13	エレガントメイク	女性らしく華やかに見せる為の メイクの作り方、色使い		
14	スチール撮影用 作品メイク	撮影メイクをする際の ポイントを理解し、実践		
15	スチール撮影用 作品メイク	撮影メイクをする際の ポイントを理解し、作品を制作する		
16	実技試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：メイクアップクリエーションB		森山	2年 前期	
到達目標	1、コンテストエントリーに向け、アーティスティックな作品をオリジナルで制作できる力を身につける			4単位 64時数
				実務経験 化粧品会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	ベースメイク表現、ツヤ肌の作り方	スキンケアからツヤ感のある肌作り		
2	ベースメイク表現、ツヤ肌、うる肌	オイリー感の厚肌作り、または パール感のある肌作り		
3	ベースメイク表現、白塗り（白クリームファンデ）	作品制作に向けたベースメイクの バリエーションを習得		
4	デザイン性のあるポイントメイク（アイメイク、チーク、リップ） グラデーション、色使い	グラデーションの美しい作り方 色の組み合わせ等イメージ作り		
5	ラインを極める（アイライン、リップラインを美しく）	ラインの美しい描き方		
6	ボディジュエリー（基本） 転写シートを使ったデザイン	基本的なボディジュエリーの 作り方を習得		
7	ボディジュエリー（応用） 自分でデザインし制作	オリジナルでデザインし、 ボディジュエリーを制作		
8	コンテストに向けた企画書・デザイン画制作	自分のイメージを企画書にまとめ デザイン画を制作		
9	コンテストデザイン画制作	コンテストテーマを理解し、 オリジナルデザインを作成		
10	コンテストデザイン画制作	コンテストテーマを理解し、 オリジナルデザインを作成		
11	コンテストデザイン画実践	作品の表現の仕方、バランス、 濃さなど、トータルで考える		
12	コンテストデザイン画実践	撮影のポイント、構図など 全体像を捉える		
13	トータルプレゼンテーション オリジナルデザイン作成	オリジナル作品を完成させる		
14	トータルプレゼンテーション 作品制作・解説	オリジナル作品制作・解説		
15	トータルプレゼンテーション 作品制作・解説	オリジナル作品制作・解説		
16	課題作成			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：メイクアップクリエイションB		森山	2年 後期	
到達目標	1.現場での対応力を身につける			4単位 64時数
	2.コンテストエントリーに向け、アーティストックな作品をオリジナルで制作できる力を身につける			実務経験 化粧品会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	カウンセリングメイク (ご要望に沿ったメイクで満足度をあげる)			
2	カウンセリングメイク (接客対応と実践)			
3	ベースメイク表現・マット肌の作り方			
4	デザイン性のあるメイク作り (作品用アイメイク・チーク・リップのアイデアを練る)			
5	ボディジュエリー応用 (転写シートを使ったデザイン、オリジナルデザイン作り)			
6	フォトコンテストに向けた企画書・デザイン画制作	IBF対策		
7	フォトコンテストデザイン画制作、実践			
8	フォトコンテストに向けた企画書・デザイン画制作	LUXE BEAUTY		
9	フォトコンテストデザイン画制作、実践	クオリティーアップ		
10	フォトコン対策 (メイク、ヘア、衣装を合わせてイメージを固める)	フレーム構成		
11	フォトコン対策 (作品の画角を決める)			
12	フォトコン対策 (撮影に必要なことへの理解)			
13	撮影現場でのノウハウを理解			
14	TV,CMなどの撮影メイクのポイント			
15	まとめ			
16	課題作成			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：メイクアップクリエーションC		森山	2年 後期	
到達目標	クオリティー高い商品を作るため、細かなテクニックの精度を上げる			8単位 128時数
				実務経験 化粧品会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	ファッションショーのためのメイク	スキンケア～ベース、ポイント 手無し、クイックメークチェンジ		
2	ブライダルメイク	ブライダルのベースメイク作り トレンドetc		
3	ラインを極める	アイライン、リップラインを美しく 仕上げる		
4	グラデーション。発色、色のバランスを極める	アイメイク、ポイントメイク		
5	syu uemuraシグネチャーメソッド復習	クレンジング～ベース 手順、手技		
6	syu uemuraシグネチャーメソッド復習	ポイントメイク		
7	syu uemura検定の流れ	検定の注意事項 モデルについて		
8	syu uemura検定の流れ	検定内容通し		
9	syu uemura検定の流れ	検定内容通し		
10	作品制作デザイン画作成、メイク実践	デザイン5パターン		
11	ショーのためのステージメイクについて	ステージでの見え方、見せ方 色、質感、バランス		
12	ショーのためのステージメイクについて	ヘア、衣装のバランス		
13	ショーのためのステージメイクについて	ステージ上でのパフォーマンス スタンス、時間配分		
14	ショーのためのステージメイクについて	トータルプロデュース		
15	総まとめ			
16	課題作成			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ヘアアレンジ		西	2年 前期	
到達目標	1、ブライダル ・和装ヘア 伝わるデザイン画が描けること			4単位 64時数
	2、多様なシーンに対応できること 綺麗に短時間で仕上げること			実務経験
	3、撮影やイベントを意識したデザインを造れることを目標			美容師・美容室勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	イベントに向けてのテーマ作品 ドレスコード (格式を考えたデザイン)			
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ボリュームアップ ・ダウンスタイル 		綺麗に早く仕上げるための 仕込みのやり方	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・トップスタイル ・ニュアンススタイル 		<ul style="list-style-type: none"> ・ホットカーラー ・ピンカール 	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ギブソントック など 質感を考えた作品		<ul style="list-style-type: none"> ・クラシックウェーブ ・飾り など 	
5	↓		↓	
6	↓		↓	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトスタイル ・クラシックスタイル 		基礎を見直してレベルの高い作品を 目指すための仕込み方	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・シニヨンスタイル ・夜会巻 		<ul style="list-style-type: none"> ・ブロー ・ホットカーラー 	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・日本髪 		<ul style="list-style-type: none"> ・ピンカール ・スキ毛 	
10			<ul style="list-style-type: none"> ・飾り など 	
11			↓	
12			↓	
13			↓	
14			↓	
15			↓	
16	実技試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ヘアアレンジ		西 美佐恵	■ 2年 後期	
到達目標	1、アップヘアスタイル【ベーシック2種】(シニヨン・夜会巻・新日本髪)			4単位 64時数
	2、アシスタント(助手と仕込み)			実務経験
	3、デザイン画(アップスタイル)、飾り選びと制作(アレンジ)			美容師・美容室勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	タイトなシニヨン(トップシニヨン)		ピンニング・スキ毛(ロール基礎)	
2	ボリュームのあるシニヨン		ピンニング・スキ毛(応用)	
3	夜会巻(重ね夜会)		ピンニング(千鳥止め)	
4	夜会巻(重ね夜会)		スキ毛(応用)	
5	夜会巻(重ね夜会)		ホットカーラー(応用)	
6	新日本髪		逆毛	
7	新日本髪		ホットカーラー(アップ基礎)	
8	(飾りまで仕上げる)		スキ毛	
9	飾りを活かしたアップスタイル(洋装)		飾りの選び方、付け方	
10	飾りを活かしたアップスタイル(洋装)		基本を組み合わせた作品	
11	飾りを活かしたアップスタイル(洋装)		デザイン画	
12	課題作品 (シニヨン、夜会ベース)		ホットカーラー	ショー(イベント)用の作品練習
13	課題作品 (シニヨン、夜会ベース)		カールアイロン	
14	課題作品 (シニヨン、夜会ベース)		ピンニング、スキ毛など応用	
15	課題作品 (シニヨン、夜会ベース)		飾り毛製作	
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：クリエイティブネイルⅡ		藤田	2年 前期	
到達目標	1、JNECネイリスト技能検定試験合格を目指す			4単位 64時数
	2、ジェルネイルの基礎を学び知識をマスターする			実務経験
	3、			ネイリストとしてサロン経営/有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	検定対策	70分タイムトライアル	(相モデル) 反復練習	
2	検定対策	70分タイムトライアル エメリーボード、オレンジウッドスティックカットスタイル デモ	(相モデル) 反復練習	
3	JNEC3級 検定前最終チェック			
4	ジェルネイル基礎理論 プレパレーションからベース、カラー、トップまでデモ		トレーニングハンド使用 使用方法・セッティング	
5	ジェルネイル プレバ、ベース、カラー、トップ +オフを学ぶ			
6	プレバ、ベース、カラー、トップ、オフ			
7	ピーコックアート			
8	フレンチネイル			
9	グラデーションネイル			
10	ラメを使ってフレンチ、グラデーション			
11	トレンド！ 重ね花、タイダイ柄、ミラーネイルetc			
12	作品制作 コラージュ、デザイン画			
13				
14				
15				
16	課題提出			

学校名：専門学校九州スクールオブビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ネイルⅣ		藤田	■ 2年 後期	
到達目標	1、JNAジェルネイル検定初級合格！			単位 時数
	2、これまでの技術プラス応用技術が出来る様になり作品作りに生かせる技術をマスターする			実務経験
	3、			ネイリストとしてサロン経営/有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	ジェルネイル検定対策 ・要項詰め合わせ・タイムトライアル相モデル60分		新しいセッティング確認	筆記問題配布
2	ジェルネイル検定対策 ・セッティング・相モデル60分+オフ			
3	ジェルネイル検定対策 ・セッティング・相モデル60分+オフ			
4	ジェルネイル検定対策 ・セッティング・相モデル60分+オフ			次回：トレハンに 10分チップラウンドまで
5	ジェルネイル検定対策 ・トレーニングハンドでトライアル・35分ケア(相モ)			
6	ジェルネイル検定対策 ・35分ケア(相モ)・トレーニングハンドで60分			
7	ジェルネイル検定対策 ・35分ケア・トレーニングハンドで60分			次回：チップとアクリルセット
8	ジェルネイル検定対策 ・35分ケア・アクリルでチップ着け	・チップオーバーレイ5本 + ジェルカラー5本 ・ナチュラルスカルプ5本 + グラデカラー5本 ・ラメスカルプ5本 + エンボス3本	要項確認 ・受験票、チェックシート確認	12/4 JNA初級 次回：デザイン画を描くもの
9	作品作成 コラーージュを見ながらデザイン画			
10	作品作成			チップ配布
11	作品作成			
12	作品作成			
13	作品作成			
14	作品作成			
15	作品作成 提出			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：着付け		西	2年 後期	
到達目標	1、着付の基礎知識を習得し、準備・助手ができるようになる			4単位 64時数
	2、一人で着付けられるようになる			実務経験
	3、留袖・訪問着の着付			美容師・美容室勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	オリジナルデザインの工程		襟合わせ、帯結び アレンジ概要	
2	留袖の着付・帯結び		襟合わせ、帯結び	
3	留袖の着付・帯結び		襟合わせ、帯結び	
4	訪問着の着付・帯結び		襟合わせ、帯結び	
5	訪問着の着付・帯結び		襟合わせ、帯結び	
6	振袖・帯結び		文庫アレンジ	
7	振袖・帯結び		お太鼓	
8	テスト		着付チェック	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15	前期総復習 提出物完成		kituke	
16	前期テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：英会話（オンライン）		AIC	■ 2年 前期	
到達目標	日常会話を英語でTRYし身につける 各回のレベルチェックに合格次第のレベルに進み、最終レベルまで到達する			2単位 32時数
				実務経験 カリフォルニア大学講師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	授業オリエンテーション	接続チェック・ログイン・アカウント確認 受講方法の確認		
2	AICオンライン英会話 Lesson 1	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
3	AICオンライン英会話 Lesson 2	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
4	AICオンライン英会話 Lesson 3	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
5	AICオンライン英会話 Lesson 4	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
6	AICオンライン英会話 Lesson 5	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
7	AICオンライン英会話 Lesson 6	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
8	AICオンライン英会話 Lesson 7	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
9	AICオンライン英会話 Lesson 8	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
10	AICオンライン英会話 Lesson 9	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
11	AICオンライン英会話 Lesson 10	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
12	AICオンライン英会話 Lesson 11	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
13	AICオンライン英会話 Lesson 12	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
14	AICオンライン英会話 Lesson 13	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
15	AICオンライン英会話 Lesson 14	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
16	AICオンライン英会話 まとめ	レベルチェック		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：英会話（オンライン）		AIC	■ 2年 後期	
到達目標	日常会話を英語でTRYし身につける 各回のレベルチェックに合格次第のレベルに進み、最終レベルまで到達する			2単位 32時数
				実務経験 カリフォルニア大学講師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	授業オリエンテーション	接続チェック・ログイン・アカウント確認 受講方法の確認		
2	AICオンライン英会話 Lesson 1	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
3	AICオンライン英会話 Lesson 2	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
4	AICオンライン英会話 Lesson 3	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
5	AICオンライン英会話 Lesson 4	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
6	AICオンライン英会話 Lesson 5	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
7	AICオンライン英会話 Lesson 6	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
8	AICオンライン英会話 Lesson 7	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
9	AICオンライン英会話 Lesson 8	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
10	AICオンライン英会話 Lesson 9	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
11	AICオンライン英会話 Lesson 10	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
12	AICオンライン英会話 Lesson 11	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
13	AICオンライン英会話 Lesson 12	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
14	AICオンライン英会話 Lesson 13	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
15	AICオンライン英会話 Lesson 14	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
16	AICオンライン英会話 まとめ	レベルチェック		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ビジネス実務マナー		堂上	■ 2年 前期	
到達目標	1、検定3級合格		2単位 32時数	
	2、社会人として役に立つ知識を修得		実務経験	
	3、マナーを通して人間力を高める		放送局勤務歴有・コンサル業務	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	授業内容の発表 ・実務ガイド本より			
2	ビジネスマンとしての資質 ・執務要件、(まとめ)シート	課題テスト有り		
3	組織の機能 ・業務分担、職制	・過去問題より		
4	全体マナー テキスト仕上げ	課題テスト有り		
5	文書(社内) ・知識+事務用品	課題テスト有り		
6	文書(社外) ・知識+a	課題テスト有り		
7	復習 1	課題テスト有り		
8	復習 2	課題テスト有り		
9	過去問題	課題テスト有り		
10	過去問題	課題テスト有り		
11	過去問題	課題テスト有り		
12	過去問題	課題テスト有り		
13	過去問題	課題テスト有り		
14	単位試験 実施			
15	単位試験 振り返り 過去問題			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ビジネス実務マナー		堂上	■ 2年 後期	
到達目標	1、接客対応の実績を事例を参考に、ロールプレイにより身につける 2、おもてなしの心とかたちを習得する 3、多様なクレームに対応できる知識		2単位 32時数 実務経験 放送局勤務歴有・コンサル業務	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	クレーム開始授業説明、到達点について		
2	電話の受電スキル	前期の復習 発生練習 電話対応		
3	売り出し訓練	グループワークでスクリプト(台本)づくり		
4	売り出し訓練	グループワーク スクリプト作成		
5	売り出し訓練	グループで発表 ケーススタディー		
6	プレゼン訓練	商品の説明、解説、買う気にさせる話し方		
7	プレゼン訓練	商品の説明、解説、買う気にさせる話し方		
8	中間評価	内容評価:レポート提出と発表頻度 授業への積極的な関わり/チームの役割		
9	クレーム対応	多種多様なクレームについて、基本的な対応方法を知る		
10	クレーム対応	①心情理解・お詫び②原因・事実確認③代替案・解決策の提示 ④再度のお詫び、感謝ロールプレイングで実践演習		
11	クレーム対応	詫び状の書き方(参考例3パターン)各自の業種の 事例を想定し記入		
12	3分間スピーチ	朝礼を想定し話す内容を各自で考え発表		
13	マイプレゼン	通学の仕方、休日の過ごし方、ランチのお店など自分が知っている情報を SNSスタイルで報告。自己紹介、5W2H端的に、分かりやすく		
14	企画からプレゼン	グループワーク KSB卒業旅行の企画 (全学科が楽しめる思い出に残る旅行のアイデア)		
15	企画からプレゼン	グループワーク KSB卒業旅行の企画プレゼン		
16	最終評価	内容評価:レポート提出/授業への積極的な関わり/チームの役割		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：キャリアガイダンス		江川 雅美	■ 1年 前期	
到達目標	・自分発見（ワークを通して自分と向き合うことで気づきを促し「自分発見」に繋げる） ・企業リサーチ ・PR動画作成の準備			2単位 32時数
				実務経験 心理カウンセラー/人材育成勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業 (授業の進め方、成績のつけ方など説明)	授業の内容を理解し、就職に向けた取り組み を理解する		
2	就職までの流れ 自己理解1(ビヘビアタイプ、エゴグラム)	自己理解とはどのようなことかを知る 素直に受け止める力を身につける		
3	自己理解2(願望の発見、自分はどんな人?)	自己理解 今まで考えてこなかったことを実際に具体化する		
4	自己理解3(欲望チェック)	自分の欲望がどのくらい存在しているか確認 無い人は欲を出すことの必要性を知る		
5	自己理解4(他信)	周りから見た自分を知る 素直に前向きに受け止める力を養う		
6	自己イメージの確立1 (現在のライフスタイル、理想の自分、こころの地図)	今の自分を客観的に見て理想とのかけ離れが無いか自己分析 理想を明確にし、目標を設定する		
7	自己イメージの確立2 (価値のリレーション)	価値とは何かを理解する		
8	アピールポイント (振り返って自分についてまとめる)	表現力の強化		
9	自分の方向性・優先順位と企業の選び方 企業リサーチとは、リサーチの仕方・ポイント	基本的な流れを理解し、行動する		
10	挨拶、礼儀、マナーなど①	対人からの見え方、受ける印象を理解する		
11	挨拶、礼儀、マナーなど②	心地よい挨拶、印象に残るなど社会人スキルと言われる ことは何かを理解する		
12	希望企業の選定（5社くらいに絞る）			
13	PR動画撮影に向けて① (自己PR、好きな教科、趣味・特技など作ってみる)			
14	PR動画撮影に向けて② (PR動画の構成を考える(内容や作品など))			
15	PR動画撮影に向けて③ (構成に合わせてスピーチ内容を練り直し)			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：キャリアガイダンス		江川 雅美	■ 1年 後期	
到達目標	・PR動画を作成する ・業界EXPOの為に準備 ・就職試験、面接、オンライン面接の対策			2単位 32時数
				実務経験 心理カウンセラー/人材育成勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	PR動画用の自己PR修正、作品準備			
2	PR動画撮影①			
3	PR動画撮影②			
4	業界EXPO対策① (マナー、話し方、聞き方など)			
5	業界EXPO対策② (企業に質問したいことなどを考える)			
6	就職試験(筆記)対策① (過去問など)			
7	就職試験(筆記)対策② (過去問など)			
8	集中授業 (補強が必要と思われる分野をする)			
9	面接対策① (対策シート作成)			
10	面接対策② (対策シート繰り返し)			
11	オンライン面接対策① (オンライン面接時の注意点など)			
12	オンライン面接対策② (オンライン面接の体験)			
13	希望企業リサーチ (企業に質問したいことなどを考える)			
14	希望企業リサーチ (企業に質問したいことなどを考える)			
15	希望企業リサーチ (企業に質問したいことなどを考える)			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：キャリアガイダンス		藤武	■ 2年 前期	
到達目標	希望の業種に内定をいただく為の心構えと準備の大切さを知る		2単位 32時数	
	就職活動に取り組む姿勢と将来について真剣に考える		実務経験 エステインストラクター・サロン勤務歴/有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	個人面談			
2	個人面談			
3	集中授業 (補強が必要と思われる分野をする)			
4	面接対策① (対策シート作成)			
5	面接対策② (対策シート練り直し)			
6	履歴書の書き方 (自己PRの精査)			
7	履歴書の書き方 (志望動機の書き方のポイント)			
8	個別指導			
9	個別指導			
10	就職試験(筆記)対策① (過去問など)			
11	就職試験(筆記)対策② (過去問など)			
12	面接練習①			
13	面接練習①			
14	面接練習①			
15	面接練習③			
16	まとめ			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：キャリアガイダンス		藤武	■ 2年 後期	
到達目標	希望職種に内定をいただく為の個別指導 就職率100%を目指す			2単位 32時数
				実務経験 エステインストラクター・サロン勤務歴/有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	個別指導 (個々の進捗、問題点の解決)			
2	個別指導 (個々の進捗、問題点の解決)			
3	個別指導 (個々の進捗、問題点の解決)			
4	個別指導 (個々の進捗、問題点の解決)			
5	個別指導 (個々の進捗、問題点の解決)			
6	個別指導 (個々の進捗、問題点の解決)			
7	個別指導 (個々の進捗、問題点の解決)			
8	個別指導 (個々の進捗、問題点の解決)			
9	個別指導 (個々の進捗、問題点の解決)			
10	個別指導 (個々の進捗、問題点の解決)			
11	個別指導 (個々の進捗、問題点の解決)			
12	個別指導 (個々の進捗、問題点の解決)			
13	個別指導 (個々の進捗、問題点の解決)			
14	個別指導 (個々の進捗、問題点の解決)			
15	個別指導 (個々の進捗、問題点の解決)			
16	個別指導 (個々の進捗、問題点の解決)			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ホームルーム		藤武	■ 1年 前期	
到達目標	1、コミュニケーション力の向上と、問題解決力、目標設定が自らできるようになる		2単位 32時数	
	2、検定合格に向けて努力する		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	コミュニケーション能力を磨く			
2	コミュニケーション能力を磨く			
3	コミュニケーション能力を磨く	個人面談		
4	コミュニケーション能力を磨く	個人面談		
5	コミュニケーション能力を磨く	個人面談		
6	コミュニケーション能力を磨く			
7	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
8	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
9	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
10	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
11	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
12	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
13	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
14	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
15	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
16	振り返り			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ホームルーム		藤武	■ 1年 後期	
到達目標	1、コミュニケーション力の向上と、問題解決力、目標設定が自らできるようになる		2単位 32時数	
	2、検定合格に向けて努力する		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	コミュニケーション能力を磨く			
2	コミュニケーション能力を磨く			
3	コミュニケーション能力を磨く	個人面談		
4	コミュニケーション能力を磨く	個人面談		
5	コミュニケーション能力を磨く	個人面談		
6	コミュニケーション能力を磨く			
7	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
8	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
9	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
10	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
11	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
12	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
13	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
14	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
15	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
16	振り返り			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ホームルーム		藤武	■ 2年 前期	
到達目標	・就職活動に対する自己の課題理解、対策、対応ができる			2単位 32時数
				実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	就職活動に向けて	個人面談		
2	就職活動に向けて	エントリーシート作成		
3	就職活動に向けて	個人面談		
4	就職活動に向けて	志望動機		
5	就職活動に向けて	個人面談		
6	就職活動に向けて			
7	検定対策			
	直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
8	検定対策			
	直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
9	検定対策			
	就職活動に向けて	個別指導		
10	検定対策			
	直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
11	検定対策			
	直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
12	検定対策			
	就職活動に向けて	個別指導		
13	検定対策			
	直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
14	検定対策			
	直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
15	検定対策			
	直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
16	振り返り			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ホームルーム		藤武	■ 2年 後期	
到達目標	・就職活動に対する自己の課題理解、対策、対応ができる			2単位 32時数
				実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	個別面談（各個人の状況の確認）			
2	就職指導（個別対応）			
3	就職指導（個別対応）			
4	就職指導（個別対応）			
5	就職指導（個別対応）			
6	就職指導（個別対応）			
7	就職指導（個別対応）			
8	就職指導（個別対応）			
9	就職指導（個別対応）			
10	就職指導（個別対応）			
11	就職指導（個別対応）			
12	就職指導（個別対応）			
13	就職指導（個別対応）			
14	就職指導（個別対応）			
15	個別面談（各個人の状況の確認）			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：プーティービジネス学科	
教科名：スキルアップⅠ		藤武	■ 1年 前期	
到達目標	1、学びの成果の確認とフォローアップ 2、就職活動への意識を高め業界EXPOに向けた準備と取り組みで早期内定を目指す 3、接客コンテストでグランプリを目指す			2単位 32時数
				実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	講義・実技		成績評価の方法・基準	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	
1	技術の向上に向けた特別授業			
2	技術の向上に向けた特別授業			
3	技術の向上に向けた特別授業			
4	技術の向上に向けた特別授業			
5	業界EXPOに向けた取り組み（企業研究） キャリアで調べた企業について詳しく調べる		志望動機の作成	
6	業界EXPOに向けた取り組み（企業研究） キャリアで調べた企業について詳しく調べる		志望動機の作成	
7	業界EXPOに向けた取り組み（企業研究） キャリアで調べた企業について詳しく調べる		エントリーシートの作成	
8	業界EXPO			
9	業界EXPO			
10	業界EXPO			
11	業界EXPO			
12	接客コンテストに向けて			
13	接客コンテストに向けて			
14	接客コンテストに向けて			
15	オンライン留学プログラム		AICオンライン留学	
16	前期まとめ		前期振り返り 後期に向けての目標等	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：スキルアップII		藤武	■ 2年 前期	
到達目標	2年前期履修カリキュラムの復習・サポート授業実施 業界就職・修飾後のサポート オンライン留学の実施から個々の視野を広げる			2単位 32時数
				実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	講義・実技	成績評価の方法・基準		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	技術の向上に向けた特別授業			
2	技術の向上に向けた特別授業			
3	検定対策	受験間近の検定合格に向けた取り組み		
4	検定対策	受験間近の検定合格に向けた取り組み		
5	検定対策	受験間近の検定合格に向けた取り組み		
6	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
7	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
8	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
9	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備	スチューデントサロン①		
10	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
11	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
12	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
13	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備	スチューデントサロン②		
14	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
15	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
16	後期まとめ	修飾語に向けての目標等		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：キャリアアップ		藤武	■ 1年 後期	
到達目標	1年次の振り返りから課題を知り改善する 就職内定に向けて個別指導を行い、目標を持って取り組める体制を整える			2単位 32時数
				実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	前期授業振り返り	教科ごとのカリキュラムを再確認 履修状況確認		
2	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート 個別指導		
3	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート 個別指導		
4	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート 個別指導		
5	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義 個別指導		
6	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義 個別指導		
7	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義 個別指導		
8	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義 個別指導		
9	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義 個別指導		
10	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義 個別指導		
11	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義 個別指導		
12	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義 個別指導		
13	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義 個別指導		
14	就職サポートとキャリアアップ	就職・キャリアアップを目指した 個別指導		
15	就職サポートとキャリアアップ	就職・キャリアアップを目指した 個別指導		
16	後期まとめ	後期振り返り 修飾語に向けての目標等		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：特別補講		藤武	■ 2年 後期	
到達目標	1、自ら考えて、企画・提案ができるようになる			2単位 32時数
	2、ヘアメイクショーやスチューデントサロンで学びの成果を形にする			実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	技術の向上に向けた特別授業			
2	技術の向上に向けた特別授業			
3	検定対策		受験間近の検定合格に向けた取り組み	
4	検定対策		受験間近の検定合格に向けた取り組み	
5	検定対策		受験間近の検定合格に向けた取り組み	
6	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
7	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
8	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
9	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備		スチューデントサロン①	
10	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
11	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
12	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
13	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備		スチューデントサロン②	
14	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
15	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
16	ヘアメイクショー本番			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ワーキング・スタディ		藤武	■ 1年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う			6単位 96時数 実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ワーキング・スタディ		藤武	■ 1年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う			6単位 96時数 実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ワーキング・スタディ		藤武	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う			6単位 96時数 実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ワーキング・スタディ		藤武	■ 2年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う			6単位 96時数 実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科
教科名：企業研修A		藤武	■ 1年 後期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		15単位 240時数 実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：企業研修A		藤武	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			15単位 240時数 実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科
教科名：企業研修A		藤武	■ 2年 後期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		15単位 240時数 実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科
教科名：企業研修C		藤武	■ 1年 後期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		15単位 240時数 実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り直し	

有
無

演習
講義

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科
教科名：企業研修C		藤武	■ 2年 前期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		15単位 240時数 実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り直し	

有
無

演習
講義

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科
教科名：企業研修B		藤武	■ 2年 後期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		15単位 240時数 実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	